

# 会津大学産学イノベーションセンター University-Business Innovation Center

2024年度 ～新UBIC 2024.10月リニューアルオープン予定～

## 「プロジェクトルーム（研究開発室）」使用者募集

このたび、会津大学産学イノベーションセンターのリニューアル（2024.10月オープン予定）に伴い、新たに「プロジェクトルーム（研究開発室）」について、下記のとおり使用者を公募します。

### 1 使用申込対象者

#### (1) 申込者資格

以下(2)の要件のいずれかを満たす次の者

- ① 研究開発を行う福島県内外の企業、各種団体又は個人
- ② 会津大学の学生若しくは教員が起業した法人（設立後5年以内の法人に限る。）又は起業しようとする学生若しくは教員

#### (2) 使用者選定の基準

- ① 会津大学の教員または学生との共同研究のための使用であること
- ② 地域の産業振興への貢献度が高いと考えられる内容の使用であること
- ③ 本県の復興創生に資するための使用であること
- ④ その他、産学官連携に資するための使用であること

### 2 公募対象室数 8室（うち大4室、中2室、小2室）

### 3 プロジェクトルーム（研究開発室）の概要

●面積：①大 16.8㎡、②中 13.4㎡、③6.7㎡

●設備：机、椅子、キャビネット、電気、ネットワーク、内線電話が使用可能。IDカードによるセキュリティを確保。

※空調は右記期間中使用可能です。【冷房】 7月～9月 【暖房】 12月～3月

※PC、外線電話等の必要な機器については、使用者側でご準備ください。

※プロジェクトルーム使用者は、その他オープンスペース（インキュベーションスペース、カフェスペース、多目的ルーム）が使用できます。



新UBICインキュベーションスペース  
（イメージ図）

### 4 使用期間 2024年10月1日（火）から2025年3月31日（月）まで（初年度：6ヶ月）

※1(1)①に該当する場合は最大3年以内で、1(1)②に該当する場合は最大5年以内で更新可。

ただし、使用期間によっては選考が行われることがあります。

### 5 使用料 ①大 399,300円（年額798,600円／12ヶ月×6ヶ月）

②中 319,440円（年額638,880円／12ヶ月×6ヶ月）

③小 159,720円（年額319,440円／12ヶ月×6ヶ月）

#### 【減免対象：減免率】

■ 認証大学発ベンチャー企業：5/10

■ 本学の教員と共同研究を行う  
学外の者又はその教員がその  
研究を目的に使用する場合：1/10

### 6 公募期間 2024年6月3日（月）～6月28日（金） **7月31日（水）まで延長**

### 7 申し込み方法

「会津大学産学イノベーションセンター・研究開発室使用許可申込書」及び添付書類を下記申し込み先までお送り下さい。申込様式は会津大学産学イノベーションセンターのホームページ

<https://www.ubic-u-aizu.jp/shisetsu/shisetsu-moshi.html>

からダウンロードいただくか、下記お問い合わせ先までご連絡下さい。

### 8 その他

○事業内容等を確認するため、メール・口頭での確認や資料の提出をお願いする場合があります。

○提出された書類は返却いたしませんので、あらかじめご了承ください。

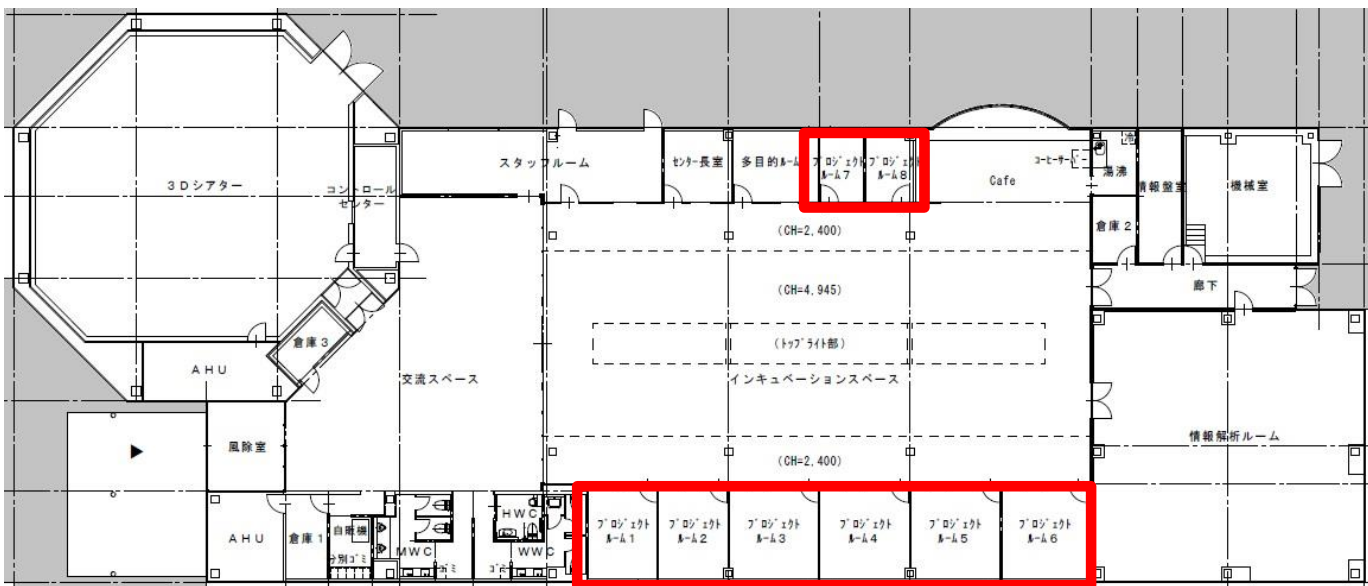
お問合せ先：会津大学 産学イノベーションセンター（事務局：企画連携課連携支援係）

〒965-8580 会津若松市一箕町鶴賀字上居合90番地

Tel：0242-37-2511 E-mail：cl-innov@u-aizu.ac.jp URL：https://www.ubic-u-aizu.jp

# 会津大学産学イノベーションセンター全体図

プロジェクトルーム7・8「研究開発室(小)6.7㎡」



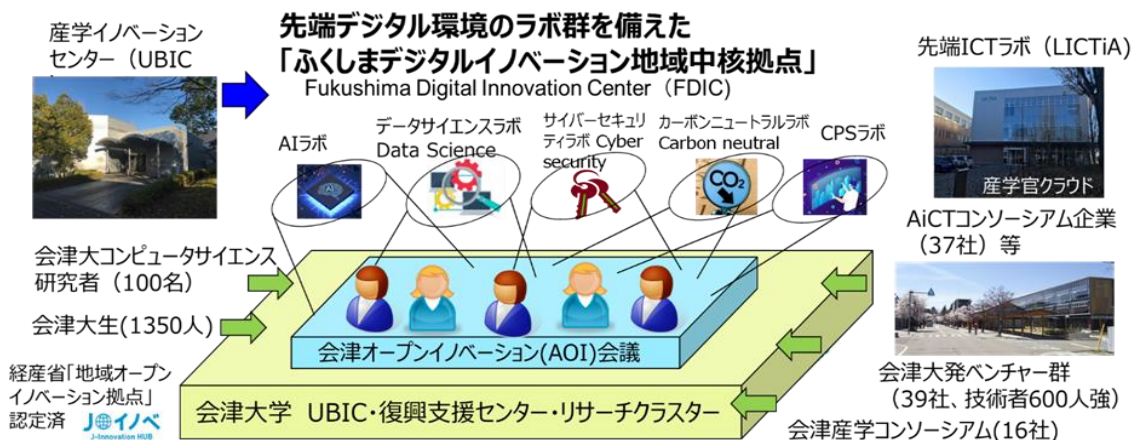
プロジェクトルーム1・2「研究開発室(中)13.4㎡」

プロジェクトルーム3-6「研究開発室(大)16.8㎡」

リニューアル概要～UBICは「ふくしまデジタルイノベーション地域中核拠点」へ生まれ変わります

現行のUBIC内のインキュベーション施設とオープンスペースを中心に改修を実施し、ICT分野の中でも重点5領域「AI(人工知能)・DS(データサイエンス)・CS(サイバーセキュリティ)・CN(カーボンニュートラル)・CPS(サイバーフィジカルシステム)」に関する専門ラボ(研究環境)を新設します。この専門ラボを利用したAOI会議、企業との共同研究を推進するとともに、併設する企業向けプロジェクトルームを使って本学シーズの社会実装化を図ります。

また教職員・企業・学生を問わず利用可能なスペースを整備し、地域の課題解決や相互連携に向けた交流を図り、さらに学生向けのプロジェクト体験スペースを確保することにより、起業マインドの醸成、先輩ベンチャーからの助言など、専門ラボや交流スペースと合わせて、スタートアップ創出のための環境を提供します。今回の施設整備により、地域中核拠点としてデジタルイノベーションの広範な普及と地域活性化に貢献してまいります。



プロジェクトルーム(研究開発室)は基本的には365日、24時間ご利用いただけます。  
※各種法令点検、大学入試、館内工事等で、年間に数日ご利用いただけない日がございますが、ご了承ください。